



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **4**



3月6日(火)、兵庫県農業共済会館で「ひょうご消費者セミナー2017」を開催し、72人が参加しました。「防ごう！消費者被害 お寺に学ぶ 助け合いの地域づくり」と題して、おてらおやつクラブ事務局長 桂 浄薫氏の講演と適格消費者団体の活動報告から、消費者被害に遭わないためのポイントや具体的な事例を学びました。(関連ページ P.3)



生活協同組合コープこうべ 常勤理事
兵庫県生活協同組合連合会 監事

中川 寿子

(なかがわ・ひさこ)

人生を変えた一冊

やわらかな春風に心浮き立つ季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。私の所属するコープこうべも、43名の新人職員を迎えることができました。今春社会に出たわが子への思いも重ねながら、生協に就職を決めた当時のことを思い出す今日この頃です。

1980年代、私はバブル前後の地方都市で大学生を送りました。娯楽も少なく気心知れた仲間内で語り合う毎日。男女雇用機会均等法成立、国民皆保険・皆年金と3号被保険者制度導入、時代は女性が生き方を「選ぶ」方向に向かっていきます。しかし、「女性」として育てられ身に付けた思考や行動パターンから自由になれず、「自立ってなに?」と自問自答を繰り返す、内省的な学生でした。

4年生になっても「働き続けられる職に就く」以上の目標が見つからないまま、教員採用試験の問題集を買いに行った書店で、『生協の挑戦』協同で生活文化を創る』という本と出会います。それは、日本生協連の大島茂男さんが上梓した生協の社会的役割を広報する入門書で、生活者目線の商品開発や産直運動、共同購入「班」のコミュニティ機能などが紹介されていました。とりわけ感銘を受けたのは、「顧客」ではなく「主体」として描かれた組合

員の存在感。「教え合い」「助け合い」という言葉のように、相互性を重視する組合員活動でした。「自立」に悩んだ私には、生協が桃源郷に思えました。生協の世帯加入率が低い町で生まれ育ち、出身校にも大学生協がなかったため、当時の私は生協を見たこともありません。偶然手にした本をあっさり信じて就職してしまったのです。

あれから30年、人生も社会もますます複雑になり、進むほどにゴールが遠ざかっていくようです。今もし若き日の自分に出会い、「選んだ道は正しかったの? 自立はできたの?」と聞かれたら、こう答えようと思いません。「自立とは、人に頼らず生きること。じゃなくて、人と関わりながら自分を成長させられること」。それで結構難しい。でも、自立した人同士がつながると、たぶん社会は変えられる。『生協の挑戦』はまだまだ続く。



CONTENTS

2. 想点
3. 「第16回 税務・経理講習会」報告
「ひょうご消費者セミナー2017」報告
4. 「兵協連だより」通信員・広報担当者研修 報告/
2018年度「兵協連だより」通信員紹介

5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ/
兵協連「東日本被災地支援活動」報告
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ/ヨッシーの窓
8. 「消費者・事業者・行政によるワークショップ」報告/
2018年度行事予定表(主要行事)/県連日誌/編集後記

2017年度「兵庫県生協連・第16回税務・経理講習会」を開催

2月20日(火)・21日(水)、兵庫県民会館で、「第16回税務・経理講習会」を開催し、5会員生協・2関連会社の職員13人が参加しました。

最初の全体講習では、MMコンサルティング代表 三宅 充氏から「経理担当者の心得」と題して、経理の重要性について、税理士 江藤 俊哉氏から「2017年度税制改正」について講義いただきました。1日目午後からの「法人税基礎クラス」には8人が参加。西宮市職員生活協同組合 統括部長 宮田 正樹氏から「税務・経理・財務管理の基本」を中心に身近な設例に基づく税務申告書の書き方など税務の基礎を学びました。参加者からは「生協に関する特例をまとめていただき、2017年度税制改正の内容がよく理解できました」「重要な部分を繰り返し説明いただき、理解を深めることができました」などの感想が寄せられ、実践に役立つ講習会となりました。



【法人税基礎クラス】 宮田 正樹氏



【全体講習】 三宅 充氏 江藤 俊哉氏

防ごう!消費者被害 お寺に学ぶ 助け合いの地域づくり

「ひょうご消費者セミナー2017」開催

3月6日(火)、兵庫県農業共済会館で「ひょうご消費者セミナー2017」を開催し、72人が参加しました。

このセミナーは、「適格消費者団体」や「消費者団体訴訟制度」について理解を深めるとともに、消費者被害防止のために個人ができることや地域のネットワークでできることについて考えることを目的に2008年度から開催しています。

冒頭、主催4団体（兵庫県生協連合会・コープこうべ・ひょうご消費者ネット・消費者支援機構関西）を代表し、消費者支援機構関西理事長 榎 彰徳氏が挨拶。続いて、適格消費者団体の活動と消費者被害の実例を〇×クイズで学びました。講演は、おてらおやつクラブ事務局長・善福寺住職 桂 浄薫氏から「おてらおやつクラブの活動の現場から～お寺の社会福祉活動の可能性～」と題して「お供え」を仏様からの「おさがり」として、見守りを兼ね困っている人に「おすそわけ」として届ける「おてらおやつクラブ」の取り組みを通して、孤立を防ぎ、地域のつながりをつくるのが消費者被害防止につながるなどお話いただきました。

参加者からは、「適格消費者団体の取り組みと原

点を知りました。社会の弱い立場への支援は『お寺の社会福祉活動』と同じです」「適格消費者団体をはじめて知りました」など感想があり、次年度につながるセミナーとなりました。



講演 桂 浄薫氏



ロビーでは、フードドライブ（家庭で余っている食品をフードバンクに寄付する活動）を行いました



〇×クイズでわかる! 適格消費者団体

2017年度「兵協連だより」通信員・広報担当者研修

3月9日(金)、兵庫県民会館で「兵協連だより」通信員・広報担当者研修を開催。8生協1団体1関連会社から17人が参加しました。この研修は、「兵協連だより」通信員ならびに会員生協の広報担当者の活動に役立てていただくために毎年企画しています。

今回は、神戸市企画調整局創造都市推進部 クリエイティブディレクター 山阪 佳彦氏を講師に「人を集めるチラシづくりのコツ」と題して、講義とワークショップを行いました。チラシを作成する順序やキャッチコピーを作成するコツ、チラシレイアウトなどの講義の後、実際にチラシのキャッチコピーを考えるワークショップを行いました。

参加者からは「キャッチコピーやデザイン、レイアウトなどの基礎を学ぶことができました」「ターゲットを絞ることでデザインが変わることが理解できました」「ワークショップでいろんな方のアイデアを聞くことができ今後の参考になりました」などの感想が寄せられ、実践に役立つ研修になりました。



【講義】各生協で作成しているチラシを添削いただきました



【ワークショップ】各班で考えたキャッチコピーを発表しました

● 2018年度「兵協連だより」通信員紹介 ●

2018年度の「兵協連だより」の通信員のみなさまです。よろしくお願いします。

購買生協	
生活協同組合コープこうべ	神原 晶子さん
佐曾利消費生活協同組合	中村 梓さん
生活クラブ生活協同組合都市生活	山本 晋也さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	時枝 文麻さん
生活協同組合連合会コープ自然派事業連合	山田 勇起さん
西宮市職員生活協同組合	宮田 正樹さん
尼崎信用金庫職員生活協同組合	柏原 正宏さん
大学生協	
神戸大学生生活協同組合	坂本 安弘さん
関西学院大学生生活協同組合	池上 正寿さん
神戸市外国語大学消費生活協同組合	衛藤 昭二さん
甲南大学生生活協同組合	中谷 満子さん
兵庫県立大学生生活協同組合	藤井 貴浩さん
神戸薬科大学生活協同組合	浅野喜一郎さん
神戸親和女子大学生生活協同組合	木村 祐一さん
大手前大学生生活協同組合	生田 正和さん
園田学園女子大学生生活協同組合	大須賀 修さん
甲南女子大学生生活協同組合	新田 和代さん
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	久保田尚穂さん
大学生協関西西北陸事業連合	藤江 正俊さん

医療生協	
神戸医療生活協同組合	中西 一真さん
尼崎医療生活協同組合	岸本 貴士さん
阪神医療生活協同組合	松田 茂之さん
宝塚医療生活協同組合	前田 秀輔さん
姫路医療生活協同組合	岡田 佐織さん
ろっこう医療生活協同組合	古市 賢二さん
たじま医療生活協同組合	春木 圭介さん
ひまわり医療生活協同組合	酒井 成美さん
共済生協	
神戸市民生活協同組合	鹿田 裕子さん
尼崎市民共済生活協同組合	中畑 貴喜さん
姫路市民共済生活協同組合	山本 悠人さん
西宮市民共済生活協同組合	白井 浩さん
兵庫労働共済生活協同組合	南雲 健一さん
生協以外の会員	
近畿労働金庫兵庫地区本部	井奥眞貴子さん

*変更・継続のご報告をいただいていない生協につきましては、2017年度通信員を継続掲載しております。変更がある場合は、兵庫県生協連までご連絡をお願いいたします。

新しい拠点のスタイル

「みなくる☆そのだ」オープン

2月23日(金)、コープ園田がリニューアルオープンしました。店舗2階には、近隣の住民が集い、学べるくらしの拠点スペースを設けています。拠点スペース「みなくる☆そのだ」は、コープさんところ、コープさんところ」は、コープさんところ初の取り組みとして尼崎市(みんなの尼崎大学)、尼崎市社会福祉協議会、阪神医療生協をはじめ地域の14団体と一緒に考えて、作り上げた地域のためのスペースです。

オープンイベントは、歌あり、お笑いあり、阪神医療生協の健康チェックや喫茶など盛りだくさんで、多くの方々楽しんでいただきました。4月からは「みんなの尼崎大学生生活科学部」が開講。さらに学びの場が増える予定です。「買い物のついでに○○できたら」「子どもと参加できる△△があるといいな」などの声を大切に、地域の未来につながる活動を支援する場としてみなさまと盛り上げていきたいと思えます。

(通信員 榊原 晶子)



阪神医療生協の健康チェック & 相談会。
血圧、体脂肪、骨密度を測りアドバイス



バルーンアート「るるんバルーン」。
会場が華やかに

～兵庫県生協連「東日本被災地支援活動」～

東日本大震災被災地復興状況視察報告

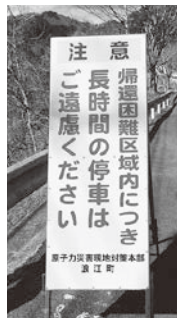
3月10日(土)～11日(日)、震災7年を迎えた東北被災地を訪ねました。2013年、神戸医療生協が被災地支援のために設立した一般社団法人INGの支援活動に、兵庫県生協連も一緒に参加している一環です。

神戸医療生協から4人、兵庫県生協連から専務理事 田中浩太郎とコープこうべ広報室の山野祥さん、協同購入センター西神戸の片山朋義さんの3人が参加し、先入りしていた「大阪きづがわ医療生協」3人と合流しました。

宮城県南医療生協が船岡町に組合員活動の場として借り上げている民家を拠点に、福島県の浪江町と宮城県の南三陸町を中心に視察と交流を行いました。町役場の職員の案内で、帰還困難地域(避難指示区域)の荒れ果てた状況や、避難指示が解除されたとは言え、人の営みを全く感じないJR浪江駅前の街並みに、ただ茫然とするばかりでした。「東日本大震災のような津波被害を二度と起こさないために」と、行政主導で総延長400kmという巨大防潮堤の建設が進められており、南三陸に向かう車中からは、三陸の美しい海の景観は望めません。南三陸町は、山が丸ごとなくなり、海辺はかさ上げで丘になり、15m近い防潮堤が海沿いに建つという、とてつもないスケールの土木事業に圧倒されます。震災前の写真と見比べても、同じ場所だとは理解できない不思議な感覚になります。漁業を生業とする方が多い中で、高台への集団移転先となった災害公営住宅からも、海は全く見えませんでした。安全か、暮らしやすさか……、被災地では今、多くの人間が関わり、知恵を絞り、将来に向けてなんとか回答を出そうと考えて生まれた結果が、こういう形で姿を現してきていました。



JR 浪江町駅前



浪江町へ向かう途中の看板



嵩上げで屋上部分しか見えない南三陸町防災対策庁舎

（一財）兵庫県水産振興基金

イカナゴ新子漁 始まる！ ～今年は2月26日に解禁～

瀬戸内海に春の訪れを告げるイカナゴ新子漁が始まりました。

2月23日(金)に行われた試験操業の結果、イカナゴ新子の順調な成育が確認されたため、解禁日は昨年より9日早い2月26日(月)となりました。

イカナゴ新子は、2隻の漁船により海の表層を網でひく「船びき網漁業」で漁獲され、水揚げされた港で入札、小売店へ直送されます。直送された新鮮な生イカナゴ新子を購入し、自宅で醤油・みりん・砂糖・生姜などで水分がなくなるまで煮詰めて作る「イカナゴのくぎ煮」が瀬戸内海の春の風物詩となっています。

昨年は極端な不漁のため、資源保護を理由に10日程で終漁となったイカナゴ新子漁。県立水産技術センターによると、今年も播磨灘、大阪湾ともに「平年を下回る」と不漁予測となっていますが、解禁日はくぎ煮に適した約40ミリの新子が水揚げされ、浜は待ちわびた解禁に活気づきました。



イカナゴ新子漁の様子



水揚げされたイカナゴ新子

JA 兵庫中央会

青木健浩さん（JA 兵庫西）が 最優秀（県知事賞）を受賞 JA 営農指導員研修大会

JA 兵庫中央会は2月16日(金)、平成29年度 JA 営農指導員研修大会を県農業会館で開催し、JA 営農指導員および関係者ら84人が参加しました。

この研修大会は、JA 営農指導員が日頃の活動実績を発表し、相互研鑽を図ることが目的です。9JAの代表者から活動実績発表が行われ、「たつの市揖西町における農業生産の拡大と農家所得向上への取組みについて」と題して発表したJA 兵庫西の青木健浩さんが最優秀を受賞しました。青木さんは、需要のある黒大豆、契約栽培米「やまだわら」、加工用白菜の3種類の作物における生産拡大の提案によって、栽培面積、販売高の増加を達成した成果を発表。審査委員長の兵庫県立農林水産技術総合センターの片山次長は「組合員の所得の向上・生産販売力強化など農協改革で求められている部分に注力されている」と講評しました。

他の発表者は次の通りです。

JA 兵庫南・阿野秀朔さん（中央会会長賞）、JA 丹波ささやま・山崎久敬さん（全農兵庫運営委員会会長賞）、JA あわじ島・北川忠久さん（審査委員長特別賞）、JA 兵庫六甲・藤原直文さん、JA みのり・矢本萌さん、JA 兵庫みらい・竹内俊充さん、JA たじま・石井淳さん、JA 淡路日の出・林満明さん



最優秀を受賞した JA 兵庫西の青木さんの発表



最近の消費生活相談事例

駐車中の車内で焼損した ドライブレコーダー

県内の消費生活相談窓口、「駐車中の車内でドライブレコーダーが焼損し、車内にも延焼した。」との相談があり、消防署等と調査しました。

車両のフロントガラスはドライブレコーダーを取り付けていた付近にひび割れがあり、天井にかけて煤(すす)が付着していました。また、助手席側の足下にドライブレコーダーと内蔵のバッテリーが落下、焼損していました。

バッテリーは内部の電極及び絶縁シートが燃えており、電極の一部に熱による変色が見られたため、バッテリーの内部でショートが発生し、発火に至った可能性が高いと考えられます。

苦情品の輸入業者は、上記の他にも同種事故が発生していたため、苦情品と同型のドライブレコーダーの自主回収(製品交換)を実施しています。

■ 対象商品・型番

ドライブレコーダー〔型番：DRY-FH200〕

販売期間：2012年10月～2013年8月

■ 問合せ窓口

株式会社ユピテル ドライブレコーダー交換窓口

0120-027-515【9時～17時(土、日、祝日を除く。)】

(兵庫県生活科学総合センター ☎078・303・0999)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

先日、とある懇親会で、「ヨッシーの窓、を書いているヨッシーさんですね!」とお声かけいただきました。実は私、長い間、このコーナーを持たせていただいているのですが、こんなふうにお声かけいただくのは初めてだったんです。ですから、とてもとてもうれしくなって、その晩はとてもよく眠れました。みなさまも、ぜひ、どこかでお会いしたら気軽に声をかけてくださいね!

さて、ひょうご消費者ネットは、日々、「こんな契約はおかしいのでは?」という情報を受け付けています。ひょうご消費者ネットだから、契約の相手が、兵庫県の事業者に限られるというわけではありません。情報提供は、お電話もしくはホームページからできます。お電話の場合、ひょうご消費者ネットの事務局が受け付けしています。なんで、またこんなことを書いているのかと思うかもしれませんが、というのも私自身、普段の生活の中で、あれ?おかしいなあと思う勧誘や契約に時々出遭うのです。どんなことでおかしいあと思ったかは、次回で書いてみたいと思います。ではまた、来月号で。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

消費者(大学生等)・事業者・行政によるワークショップ

～さんしゃの想いをつなげよう～

3月3日(土)、兵庫県民会館で、5回目となる消費者(大学生等)・事業者・行政によるワークショップ「三者(みんな)の想いをつなげよう～“春”からはじめるかしこい選択～」が開催(主催:兵庫県・ひょうご消費生活三者会議・大学生協関西北陸事業連合)され、126人が参加しました。今回のテーマは「エシカル消費」。大学生自身が企画・運営するこのワークショップは、これまでも消費者市民社会の実現に向け、三者が地域における役割や連携による取り組みを考えてきましたが、今回は出された企画・提案の中から厳選して2018年度に実施し、結果を次回ワークショップで報告しようという新たな試みです。エシカル消費は生協にとっても重要なテーマ。ある班は、世代を超えたつながりで育む食育に取り組もうという企画を立てました。エシカルな消費行動は、幼い頃からの教育が大切なので、大学生が、行政や地域、事業者から学び、それを中・高校生、さらには幼稚園児に紙芝居や劇、ゲーム等につなげていこうというものです。他にも、食品を購入する際

は手前の商品から取る運動を広げる班、電源構成へのこだわりを追求する班や、オシャレなオリジナルエコバッグ作成班など、どの班もそれぞれ背景にある社会的課題を捉え、自身のよりよく選択する力の重要性を踏まえた提案が出されました。



ワークショップ



● 2018年度 行事予定表 (主要行事) ●

*変更になる場合があります。

開催日	兵協連 主要行事/研修	開催日	兵協連 主要行事/研修
4月 9日	兵協連 第6回理事会/第1回役員推薦委員会	8月 6日	兵協連 第2回理事会
5月	22(火) 兵協連 第2回役員推薦委員会	9月 22(土)	ひょうごまるごと健康チャレンジキックオフ大会
	28(月) 兵協連 監事会(期末監査)	10月	1(日) 兵協連 第3回理事会
6月	4(日) 兵協連 第7回理事会/第3回役員推薦委員会		4(木)
	25(月)	兵協連 第68回通常総会・第1回理事会	12月 3(日)
7月	6(金) 第96回国際協同組合デー・兵庫県記念大会	2019年1月	5(土) 新春トップセミナー・賀詞交換会
	28(土) 兵協連ピースアクション2018 広島被爆ピアノ平和コンサート		2月 4(日)

編集後記

「兵協連だより」通信員・広報担当者研修(P4参照)を開催し、人が集まるチラシを作成するコツ(見た人の気持ちや行動がどう変わるか意識すること)について教えていただきました。いきなり作るのではなく作成までのプロセス①何を(目的)②誰に(ターゲット)③いつ(タイミング)④どこで(メディア)⑤どのように(表現するか)が重要とのこと。研修の後半のワークショップでは、1枚の写真につける「人を動かす」キャッチフレーズをグループで協力し考えました。「チラシにしたい!」と思うものがいくつもありませんでした。キャッチフレーズはとにかく数多く出さないといけないそうです。先日、チラシを作ったのですが、ありきたりの言葉ばかり:一人では限界がありますね。今度はどなたかにアイデアをいただけたいと思います。その際は、是非ご協力よろしく願います!(大戸)



県連日誌

4月9日(月) 兵協連第6回理事会・第1回役員推薦委員会

(県民会館 1201)